



3000 Digital Series

取扱説明書

UHFワイヤレスシステム

ATW-DR3120

2chレシーバー

ATW-DR3120DAN

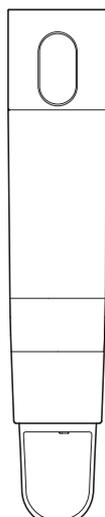
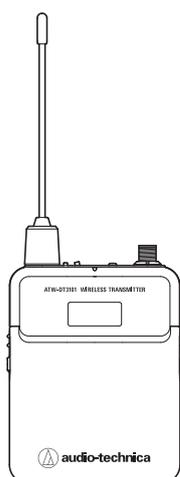
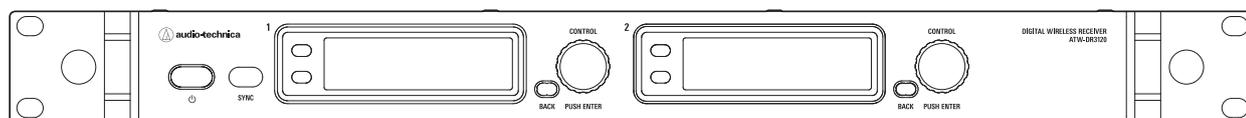
Dante付き2chレシーバー

ATW-DT3101

2ピーストランスミッター

ATW-DT3102/S

ハンドヘルドトランスミッター



目次

はじめに.....	2	ファンクションボタンの機能割り当てを設定する.....	25
安全上の注意.....	2	ミュートモードを設定する.....	25
本製品について.....	2	セキュリティに関する機能を設定する.....	25
電源ケーブルについて.....	3	システムに関する機能を設定する.....	25
電池/充電式電池について.....	4		
使用上の注意.....	5	取り付けかた(ATW-DT3101).....	27
お手入れ.....	5	接続方法(基本接続).....	27
各部の名称と機能.....	6	接続方法(カスケード接続).....	28
ATW-DR3120 / ATW-DR3120DAN.....	6	安定した受信のために.....	29
ATW-DT3101.....	8	ラックマウントの方法.....	29
ATW-DT3102/S.....	9	故障かな?と思ったら.....	30
電池の入れかた.....	10	ATW-DR3120/ATW-DR3120DAN.....	30
ATW-DT3101.....	10	ATW-DT3101/ATW-DT3102/S.....	30
ATW-DT3102/S.....	10	外形寸法図.....	31
インターチェンジابلマイクロホンカプセル着脱のしかた (ATW-DT3102/Sのみ).....	11	ATW-DR3120/ATW-DR3120DAN.....	31
取り付けかた.....	11	ATW-DT3101.....	32
取り外しかた.....	11	ATW-DT3102/S.....	32
ディスプレイの見かた.....	12	テクニカルデータ.....	33
ATW-DR3120/ATW-DR3120DAN.....	12	システム仕様.....	33
ATW-DT3101/ATW-DT3102/S.....	14	ATW-DR3120/ATW-DR3120DAN.....	33
操作のしかた.....	15	ATW-DT3101.....	33
基本操作.....	15	ATW-DT3102/S.....	34
IR SYNCを使用する.....	15		
設定について.....	16		
ATW-DR3120/ATW-DR3120DANの場合.....	16		
ATW-DT3101/ATW-DT3102/Sの場合.....	16		
ATW-DR3120/ATW-DR3120DANの設定.....	17		
設定項目一覧.....	17		
受信周波数を設定する.....	17		
チャンネル名を設定する.....	17		
オーディオ出力の設定.....	18		
空きチャンネルをスキャンする.....	18		
IR SYNCによる送信機の設定.....	18		
セキュリティに関する機能を設定する.....	19		
システムに関する機能を設定する.....	19		
ネットワークを設定する.....	21		
DANTEについて設定する.....	22		
ATW-DT3101/ATW-DT3102/Sの設定.....	23		
設定項目一覧.....	23		
送信周波数を設定する.....	23		
チャンネル名を設定する.....	23		
マイク入力ゲインを調整する.....	24		
入力コネクタの接続を設定する(ATW-DT3101のみ).....	24		
マイク入力ゲインを選択する(ATW-DT3101のみ).....	24		
送信出力を設定する.....	24		
HPF(High-Pass Filter)を設定する.....	24		
ロックを設定する.....	24		

はじめに

お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

本製品の型番で周波数のバンドを確認することができます。お使いの製品の型番は定格ラベルでご確認いただけます。

(例) ATW-DR3120HH1
バンド名

バンド名	通信周波数帯
HH1	806.125~809.750MHz

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本製品について

警告

- 心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の場所では使用しない
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- 本製品を航空機内で使用しない
電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない
電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 指定の電池／充電式電池以外使用しない
故障、不具合の原因になります。
- 付属の電源ケーブル以外使用しない
電流容量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- 火気に近付けない／火の付いたキャンドルなどを上に置かない
火災の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
- 水をかけない／水滴や水しぶきのかかる場所に置かない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- じゅうたんや布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。
- 電源電圧設定を変えない
火災の原因になります。

安全上の注意

⚠ 注意

- **本製品を設置する場合は、壁から15cm以上離す／他の機器に近付けない**
内部に熱がこもり、火災の原因となります。本製品の背面から15cm以上、隙間をあけてください。
- **すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができる場所に置く**
主電源スイッチ、電源ボタンを切っても、コンセントからは完全に遮断されていません。故障、不具合の原因になります。
- **不安定な場所に置かない**
本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。
- **換気の良い場所に置く**
本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の天面、左右それぞれ10mm以上、隙間を空けてください。
- **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。
- **本製品の上に物(花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など)を置かない**
万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない**
変形、故障の原因になります。
- **アンテナで目を突いたりしない**
けがの原因になります。

電源ケーブルについて

⚠ 警告

- **表示している電源電圧以外で使用しない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **本製品以外には使用しない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない**
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **ケーブルは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **ケーブルを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
断線、故障の原因になります。
- **ケーブルの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
断線、故障の原因になります。
- **分解や改造はしない**
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
感電によるけがの恐れがあります。
- **布などで覆わない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **アース線は、必ずコンセントの接続前に取り付け、コンセントを外した後に取り外す**
火災の原因になることがあります。安全のため、必ず手順を守ってください。(3P-2P 電源プラグ使用時)
- **接地(アース)極付コンセント以外には接続しない**
火災の原因になることがあります。
- **すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにする**
主電源スイッチ、電源ボタンを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

⚠ 注意

- **長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
火災の原因になることがあります。安全のため、必ずコンセントから抜いてください。また、省エネルギーにご配慮ください。
- **足に引っ掛かりやすい場所にケーブルを引き回さない**
故障や事故の原因になります。
- **通電中の電源ケーブルに長時間触れない**
低温やけどの原因になることがあります。

安全上の注意

電池／充電式電池について

指定電池／充電式電池以外は使用しないでください。

指定電池／充電式電池 単3形アルカリ乾電池(2本)または単3形ニッケル水素電池(2本)

⚠ 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。
・万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

*1は充電式電池
*2は電池についてのみの内容になります。

- 火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない
発熱、破損、発火の原因になります。
- 幼児の手の届く所に置かない
電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。
- 電池は(+) (-)を逆に入れてない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 硬貨やカギなど金属製のものと一緒に場所に置いたり、電池の(+)と(-)を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 乾電池は充電しない(*2)
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使い切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。

⚠ 注意

*1は充電式電池
*2は電池についてのみの内容になります。

- 落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない
■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
■炎天下の車内 ■ストーブなどの熱源の近く
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。
- 指定の充電器、ACアダプター以外で充電しない (*1)
故障や火災の原因になります。
- 外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない
ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 変形させたりハンダ付けしない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 保管、廃棄の場合は端子(金属部分)をテープなどで絶縁する
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 機器を使用したあとは必ずスイッチを切る
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。
- 指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する(*2)
環境保全に配慮してください。

充電式電池のリサイクルについて

充電式電池はリサイクルできます。不要になった電池は、端子(金属部分)にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ<http://www.baj.or.jp>をご覧ください。

使用上の注意

- ・ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- ・本製品を使用しないときは、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- ・ケーブルの抜き差しは、本製品の電源を切ってから行ってください。
- ・テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ・同じ周波数を同時に2波使用することはできません。
- ・周囲の電波環境や複数台使用により、干渉ノイズが発生することがありますので注意してください。
- ・ワイヤレスシステムは自動車のスパークノイズ、照明用調光装置、コンピューター、OA機器、電子楽器などの影響を受ける場合があります。影響を受けにくい位置に設置して使用してください。
- ・本製品は必ず当社指定の機器との組み合わせで使用してください。
- ・イーサネット規格に準拠し、汎用的なLANケーブル(CAT5e以上、シールド付き推奨)を使用してください。
- ・ネットワークを使用しないときは、LANケーブルを取り外してください。
- ・接続するケーブルのプラグは根元まで確実に差し込んでください。
- ・ミキサーに接続する場合、ファントム電源をオフにしてください。
- ・本製品の近くに電子機器や発信機(携帯電話など)があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ・本製品を設置する際、受信機と送信機の間に電波をさえぎるような障害物がないようにしてください。
- ・電池/充電式電池の消耗を防ぐため、使用後や使用しないときは送信機の電源を切ってください。
- ・本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- ・本製品に貼られている技術基準適合証明シールを剥がすと法規上本製品を使用できなくなりますので、剥がさないでください。
- ・本製品を分解して改造を行う行為は、法規上禁止されています。また、本製品は精密にできており、分解すると感電や故障、火災の原因にもなります。絶対に行わないでください。

複数のワイヤレスシステムを使用する場合

- ・複数台同時に使用する場合は、同一グループ内でお使いください。
- ・複数台同時に使用する場合は、送信機同士は1m以上、送信機と受信機は3m以上離してください。
- ・複数台使用する際は音をモニターしながら送信機の電源を順にオンにして雑音のないことをご確認ください。
- ・使用時にハウリング(ピー、あるいはキーンと言う音)が発生した場合、接続しているミキサー/アンプなどの出力ボリュームを絞ってください。

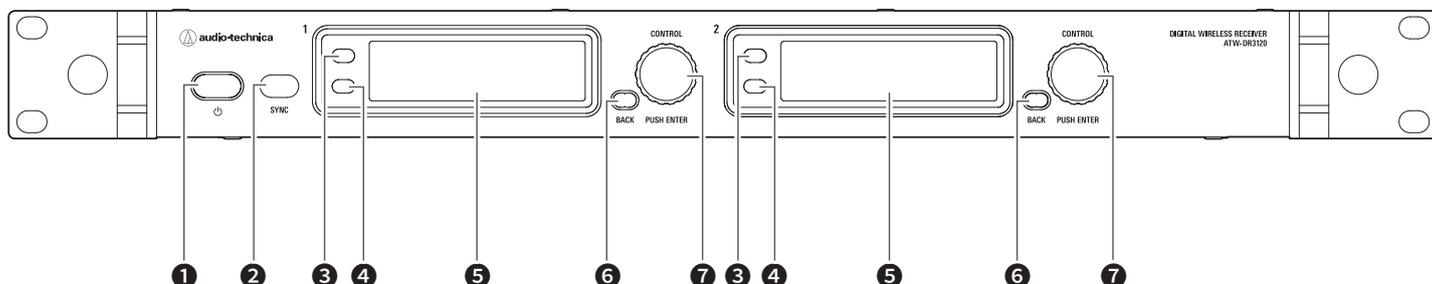
お手入れ

- ・汚れたときやほこりが付いたときは電源ケーブルを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しないでください。変形、破損、故障の原因になります。

各部の名称と機能

ATW-DR3120 / ATW-DR3120DAN

フロントパネル

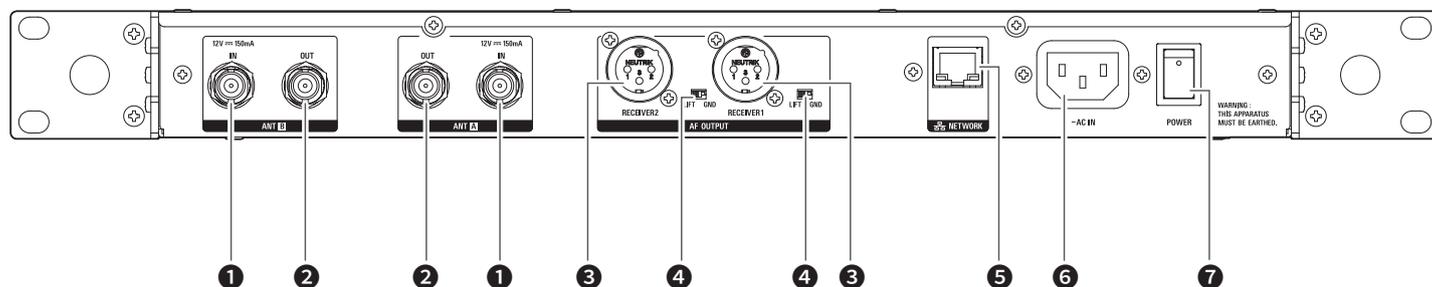


- 1 電源ボタン ()**
受信機の電源をON / スタンバイにします。
( : スタンバイを表す記号です。)
- 2 IR 受発光部**
送信機 (ATW-DT3101、ATW-DT3102/S) との IR SYNC の際に使用します。
- 3 ファンクションボタン1**
押すたびにメイン画面とレベルメーター画面を切り換えます。
- 4 ファンクションボタン2**
押すたびにメイン画面の表示が切り換わります。
- 5 ディスプレイ**
受信機の状態や設定のメニューが表示されます。
- 6 BACK ボタン**
押すと前の画面に戻ります。
長押しするとメイン画面に戻ります。
- 7 コントロールダイヤル**
ダイヤルを押すと設定のメニューが表示されます。ダイヤルを回して設定項目を選び、押して決定します。
ダイヤルを長押しすると、QUICK SYNC を開始します。

各部の名称と機能

リアパネル

イラストはATW-DR3120です。



① アンテナ入力端子

(: 直流を表す記号です。)

各アンテナ端子からDC12Vの供給ができます。

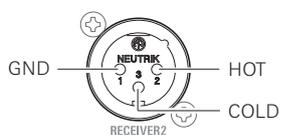
また、アンテナアクセサリ（別売）の接続ができます。

② アンテナ出力端子

アンテナA・Bに入力された信号を分配し出力します。

この端子を使用することで、受信機を最大4台（合計5台）接続することができます。

③ バランス出力端子 (XLR 3ピン オス)



④ グランドリフトスイッチ

バランス・アンバランス出力のGNDピンをグランドから切り離すスイッチです。

通常は「GND」で使いますが、グランドループによるハム音が出る場合はスイッチを「LIFT」側に切り換えてください。

⑤ ネットワーク端子

PC とのイーサネット接続により、PCでのモニターや制御が可能です。

ATW-DR3120DANの場合は、DANTEアウトプット端子も兼ねます。

LAN : 100Base-TX

DANTE : 1000Base-T

⑥ ACインレット

電源ケーブルを接続します。

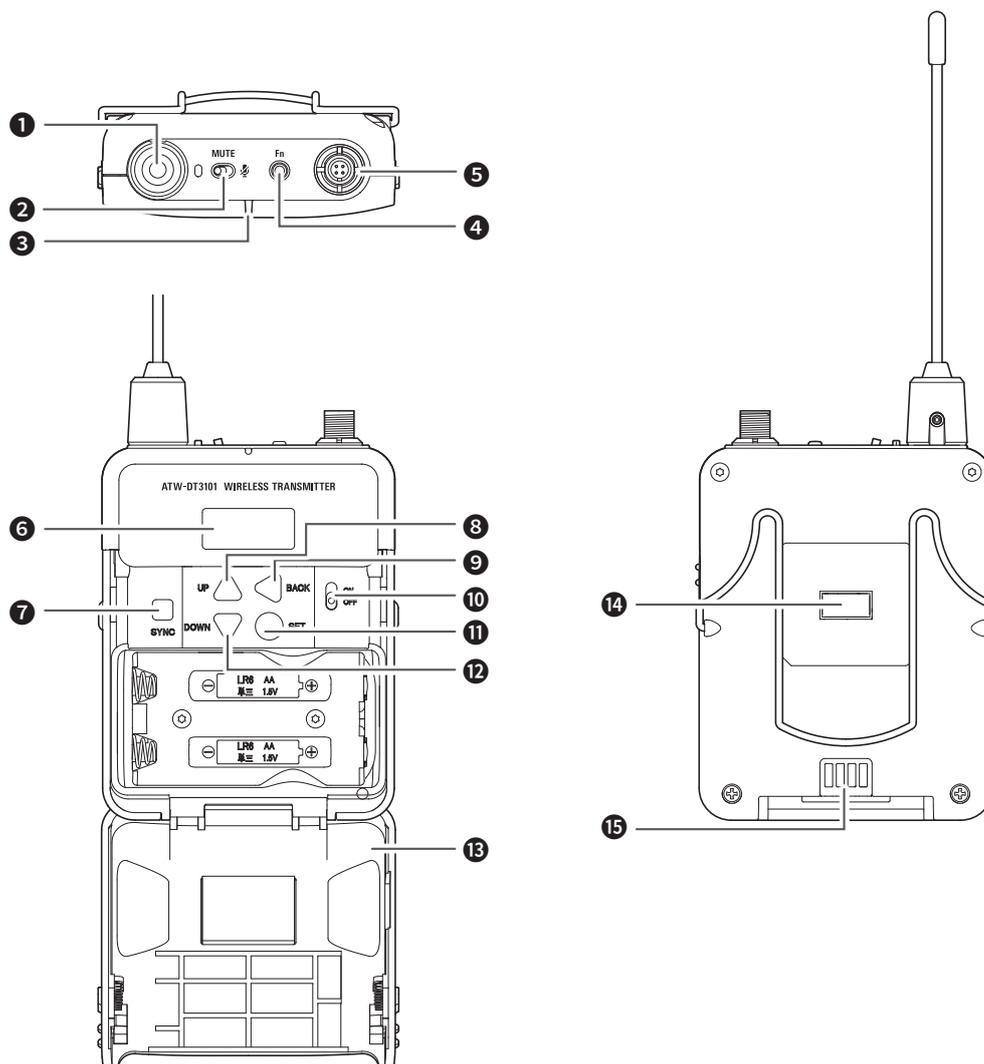
(: 交流を表す記号です。)

⑦ 主電源スイッチ

主電源のON / OFFをします。

各部の名称と機能

ATW-DT3101



① 送信用アンテナ

② MUTEスイッチ

ミュート機能のON / OFFが切り換わります。

③ インジケーター

送信機の状態をLEDで表示します。

電源ON時: 緑点灯

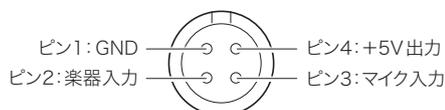
ミュート時: 赤点灯

④ ファンクションボタン

画面が消灯しているときに押すと、再点灯します。長押しすると、割り当てられた動作が行われます。

⑤ 入力コネクター

マイクホン、ヘッドウォーン、ギターケーブルなどを接続します。



⑥ ディスプレイ

現在の状態を表示します。

30秒間何もボタン操作をしないと、ディスプレイが消灯します。

⑦ SYNCボタン

受信機(ATW-DR3120 / ATW-DR3120DAN)とのIR SYNCの際に、使用します。

⑧ UPボタン

各種設定など選択する際に使用します。

⑨ BACKボタン

押すと前の画面に戻ります。

長押しするとメイン画面に戻ります。

⑩ 電源スイッチ

電源のON / OFFをします。

⑪ SETボタン

押すと設定のメニューが表示されます。UP / DOWNボタンを押して設定項目を選び、押し決定します。

⑫ DOWNボタン

各種設定など選択する際に使用します。

⑬ 電池カバー

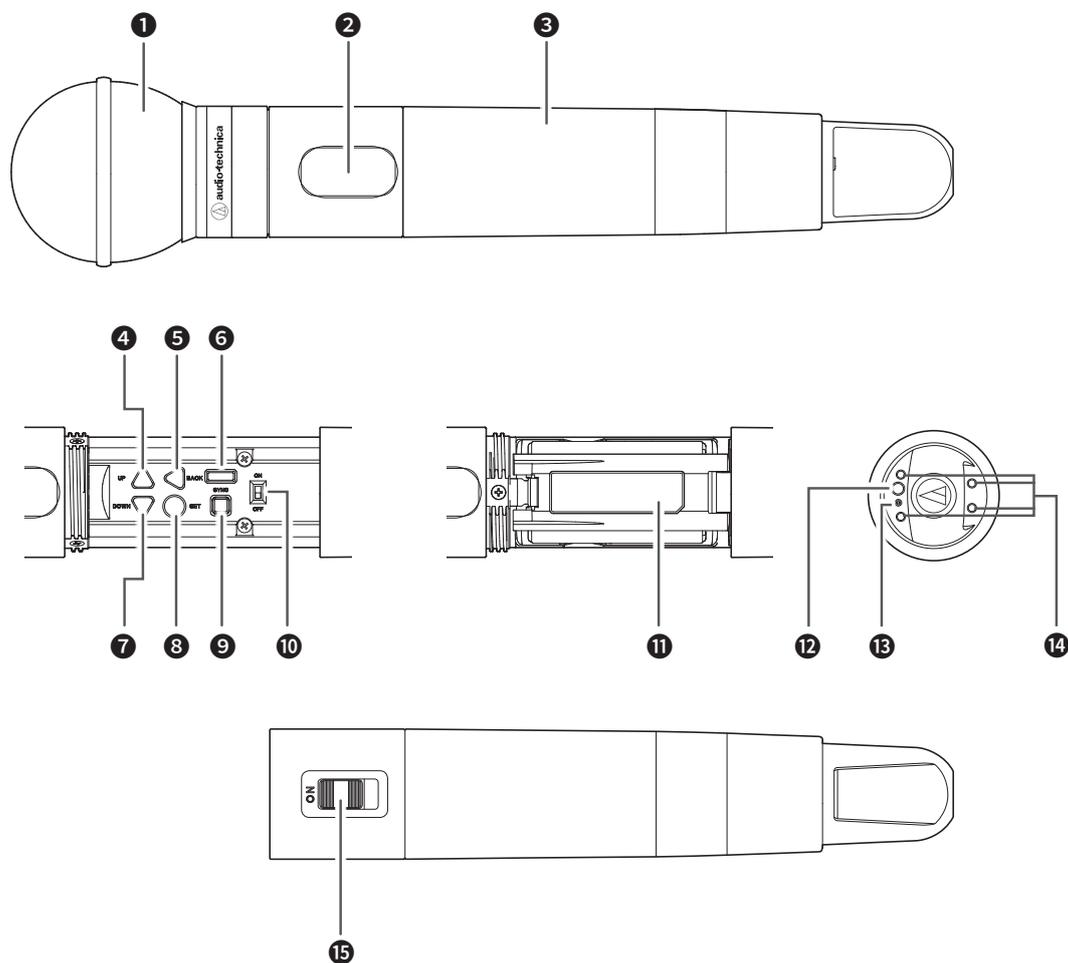
⑭ IR受光部

IR SYNCの際の受光部です。

⑮ 充電端子

各部の名称と機能

ATW-DT3102/S

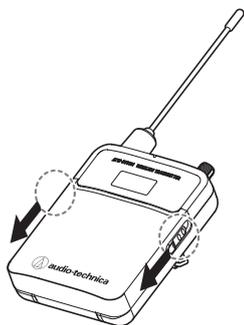


- ① インターチェンジャブルマイクロホンカプセル(別売)
- ② ディスプレイ
現在の状態を表示します。
30秒間何もボタン操作をしないと、ディスプレイが消灯します。
- ③ グリップケース
- ④ UPボタン
各種設定など選択する際に使用します。
- ⑤ BACKボタン
押すと前の画面に戻ります。
長押しするとメイン画面に戻ります。
- ⑥ IR受光部
IR SYNCの際の受光部です。
- ⑦ DOWNボタン
各種設定など選択する際に使用します。
- ⑧ SETボタン
押すと設定のメニューが表示されます。UP / DOWN ボタンを押して設定項目を選び、押して決定します。
- ⑨ SYNCボタン
受信機(ATW-DR3120 / ATW-DR3120DAN)とのIR SYNCの際に、使用します。
- ⑩ 電源スイッチ
電源のON / OFFをします。
- ⑪ 電池カバー
- ⑫ ファンクションボタン
画面が消灯しているときに押すと、再点灯します。長押しすると、割り当てられた動作が行われます。
- ⑬ インジケータ
電源・電池の状態をLEDで表示します。
電源ON時：緑点灯
ミュート時：赤点灯
- ⑭ 充電端子
- ⑮ MUTEスイッチ
ミュート機能のON / OFFが切り換わります。

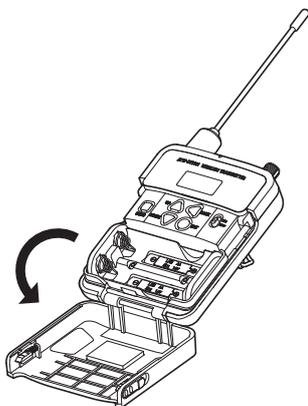
電池の入れかた

ATW-DT3101

1. 電池カバーのノブをスライドさせます。



2. ノブをスライドさせた状態で、電池カバーを開けます。

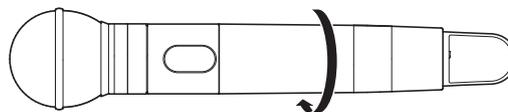


3. 本体に表示されている(+)と(-)の向きを確認して、正しく電池を入れます。

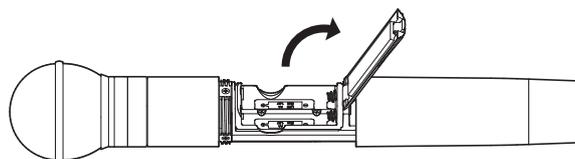


ATW-DT3102/S

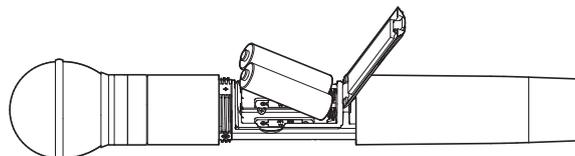
1. 本体のグリップケースを回転させます。



2. 裏側の電池カバーを開けます。
・ 電池カバーのツメに指をかけて、引きながら電池カバーを開けてください。



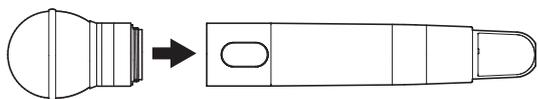
3. 本体に表示されている(+)と(-)の向きを確認して、正しく電池を入れます。



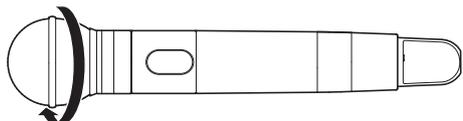
インターチェンジブルマイクロホンカプセル着脱のしかた(ATW-DT3102/Sのみ)

取り付けかた

1. マイクロホンカプセルを本体に取り付けます。

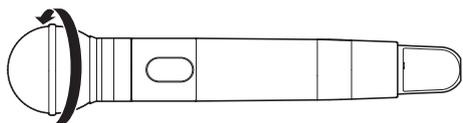


2. マイクロホンカプセルを回転させて締めます。

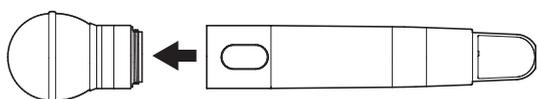


取り外しかた

1. マイクロホンカプセルを回転させて緩めます。



2. マイクロホンカプセルを本体から取り外します。

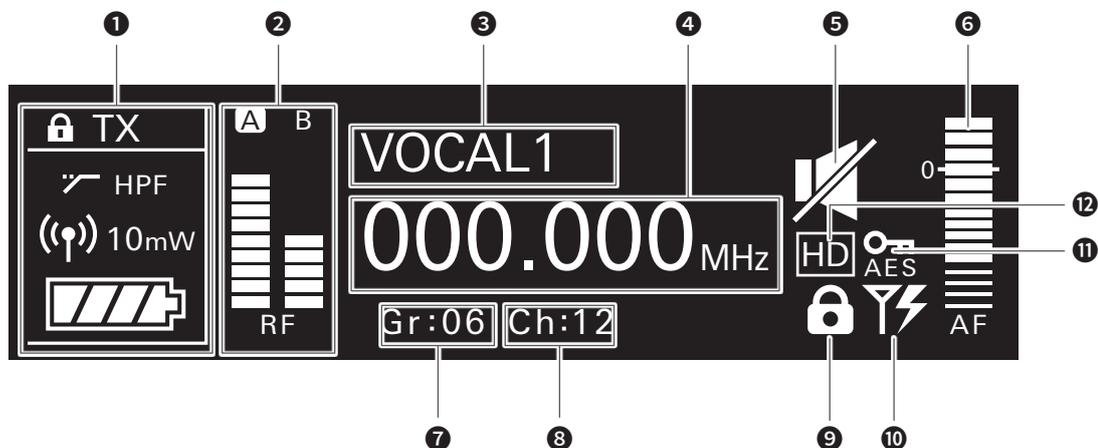


- ・ 接続面は、直接触れたり、傷を付けたりしないでください。
- ・ マイクロホンカプセルの取り付け／取り外しは、送信機の電源を必ず切ってから行ってください。
- ・ マイクロホンカプセルを取り付ける際、強い力で無理に取り付けしないでください。本体またはマイクロホンカプセルが破損する場合があります。

ディスプレイの見かた

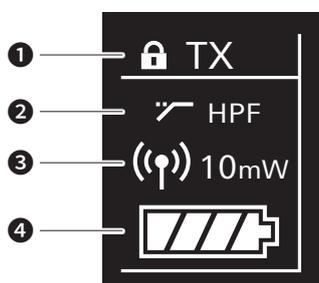
ATW-DR3120/ATW-DR3120DAN

メイン画面

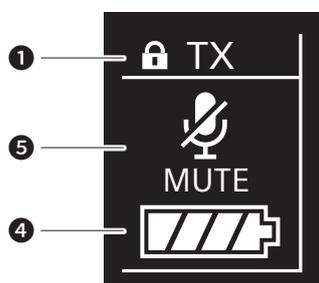


- ① 送信機情報表示エリア
接続している送信機の情報が表示されます。画面の表示については「送信機情報表示エリア」(p.12)を参照してください。
- ② RFレベルインジケータ
アンテナAおよびBのそれぞれの受信状態を表示します。
- ③ 名称表示
設定した名称を表示します。
- ④ 周波数表示
設定した周波数を表示します。
- ⑤ 受信機ミュート表示
受信機のミュート時にマークが表示されます。
- ⑥ AFレベルインジケータ
受信した音声信号のレベルに応じて点灯します。
- ⑦ グループ表示
- ⑧ チャンネル表示
- ⑨ ロック状態表示
- ⑩ アンテナ入力電源表示
アンテナ入力電源の設定がONのとき、表示されます。
- ⑪ AES256暗号化モード表示
- ⑫ HDモード表示

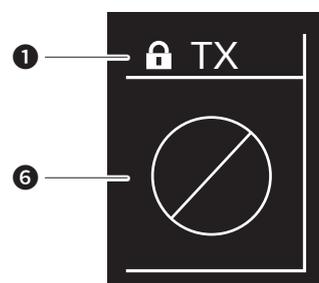
送信機情報表示エリア



通常時



ミュート時

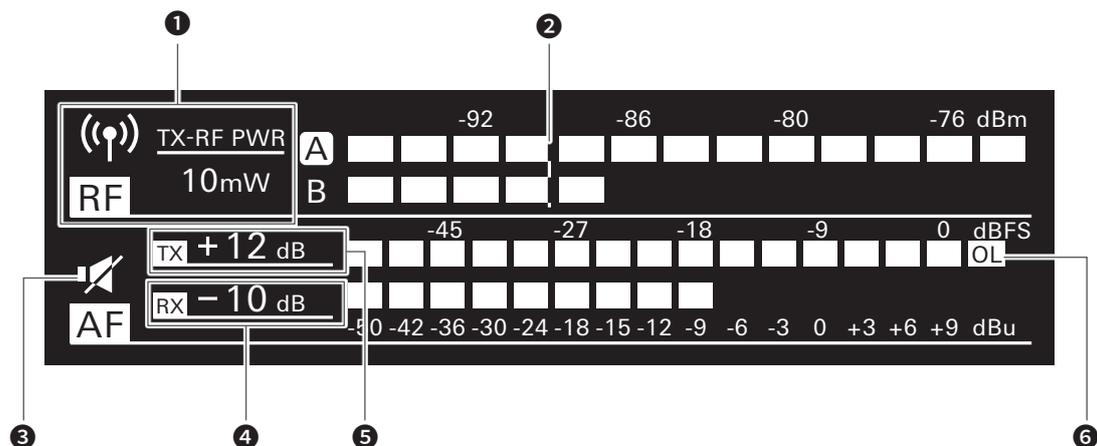


非通信時

- ① ロック状態表示
- ② ハイパスフィルター表示
- ③ 送信出力表示
- ④ 電池残量表示
- ⑤ 送信機ミュート表示
送信機のミュート時にマークが表示されます。
- ⑥ 送信機非通信表示

ディスプレイの見かた

レベルメーター画面



- ① 送信出力表示(送信機)
- ② マーカー(ミニマムホールド機能ON時)
RF レベルの最小値に固定されます。
- ③ ミュート表示
ミュート時にマークが表示されます。
- ④ オーディオ出力表示(受信機)
- ⑤ ゲイン表示(送信機)
- ⑥ オーバーロード(過大入力)表示

ミニマムホールド機能について

レベルメーター画面でBACKボタンを押すと、ミニマムホールド機能がONになり、マーカーが表示されます。

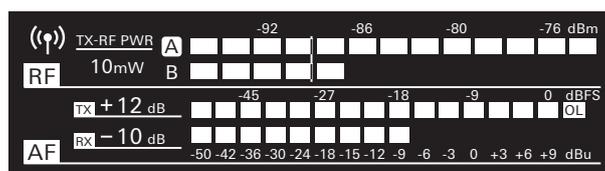
- ・マーカーは、入力したRFレベルの最小値の位置に固定されます。
- ・マーカーの位置より大きいRFレベルが入力されても、マーカーは動きません。
- ・マーカーの位置より小さいRFレベルが入力されると、マーカーはRFレベルに合わせて動きます。
- ・マーカーの位置をリセットするには、もう一度BACKボタンを押します。

画面切り替えについて

ファンクションボタン1を押すたびに画面が切り換わります。



メイン画面

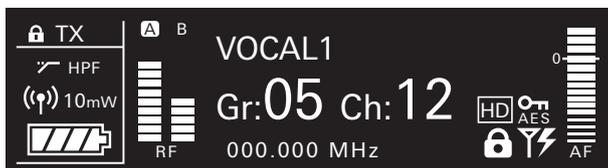


レベルメーター画面

ファンクションボタン2を押すたびにメイン画面の表示が切り換わります。



メイン画面(周波数表示)



メイン画面(グループ・チャンネル表示)



メイン画面(チャンネル名表示)

ディスプレイの見かた

ATW-DT3101 / ATW-DT3102/S

電源をONにすると、メイン画面が表示されます。メイン画面でUP / DOWNボタンを押すと、画面表示が切り換わります。



① 周波数表示
設定した周波数を表示します。

② HDモード表示

③ AES256暗号化モード表示

④ ロック状態表示

⑤ 電池残量表示

-  : 75%以上電池残量があります。
-  : 50～75%電池残量があります。
-  : 25～50%電池残量があります。
-  : 電池残量が25%以下です。
-  (点滅) : 電池を取り換えてください。

⑥ 送信出力表示

-  : RF Power High (10mW)
-  : RF Power Low (2mW)
-  : RF Power Off

⑦ オーディオ入力表示

-  : ギターケーブルなどの接続時
-  : マイクロホンの接続時

⑧ ハイパスフィルター表示

⑨ 名称表示
設定した名称を表示します。

⑩ グループ表示

⑪ チャンネル表示

操作のしかた

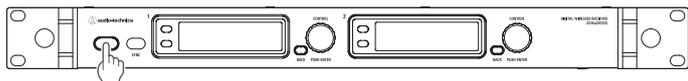
基本操作

1. 受信機 (ATW-DR3120 / ATW-DR3120DAN) の主電源スイッチを ON にします。



2. 受信機 (ATW-DR3120 / ATW-DR3120DAN) の電源ボタンを ON にします。

・ディスプレイが点灯し、メイン画面が表示されます。

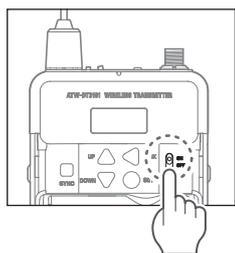


3. 受信する周波数を設定します。

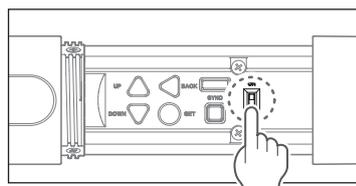
4. 送信機 (ATW-DT3101 / ATW-DT3102/S) の電源スイッチを ON にします。

・インジケータが点灯し、ディスプレイにメイン画面が表示されます。

ATW-DT3101



ATW-DT3102/S



5. 送信する周波数を設定します。

6. RFレベルインジケータを確認します。

・アンテナ A / B のどちらかが点灯することを確認してください。

7. マイクホンに音声を入力します。

・AFレベルインジケータが点灯することを確認してください。

・送信機の DOWN ボタンを押したまま電源スイッチを ON にすると、送信出力を OFF の状態で起動できます (RF OFF モード)。

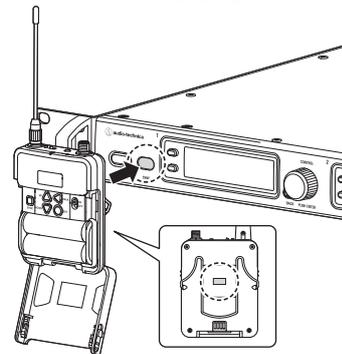
IR SYNC を使用する

受信機で設定した内容を IR SYNC で、送信機に設定できます。

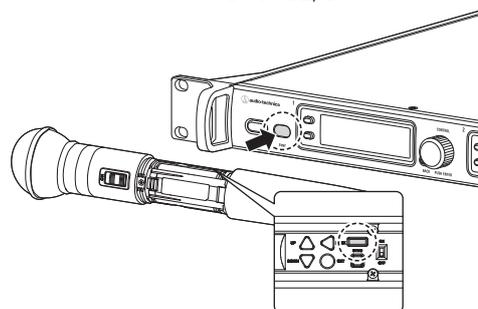
1. 受信機の設定から IR SYNC を開始すると、通信待機中の画面が表示されます。

2. 受信機の IR 受発光部と送信機の IR 受光部を向かい合わせます。

ATW-DT3101



ATW-DT3102/S



3. 送信機の SYNC ボタンを押します。

・通信が終了するまで数秒待ちます。

4. 受信機と送信機の SYNC が完了すると、完了画面が表示されます。

・受信機で設定した内容が送信機に SYNC されます

・SYNC に失敗した場合は、エラー画面が表示され、メニュー画面に戻ります。受信機と送信機の IR 受光部を確認し、再度 SYNC を行ってください。

・SYNC をキャンセルする場合は、BACK ボタンを押してください。1つ前の画面に戻ります。

QUICK SYNC を使用する

QUICK SYNC を使用すると、受信機の設定を送信機に簡単に送ることができます。

1. メイン画面でコントロールダイヤルを長押し (約2秒) します。

2. 「Sync」を選択し、コントロールダイヤルを押します。

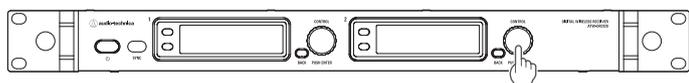
設定について

ディスプレイに表示されるメニュー画面から本製品の各種設定ができます。

ATW-DR3120 / ATW-DR3120DANの場合

1. コントロールダイヤルを押します。

- ・メニュー画面が表示されます。



2. コントロールダイヤルを回して、設定したい項目を選択します。



3. コントロールダイヤルを押すと、選択した項目の設定画面が表示されます。

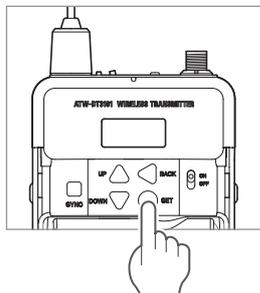
- ・BACK ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。
- ・途中で設定を中止する場合はBACK ボタンを押します。
- ・設定画面に入った状態でボタン操作を約60秒行わないと、メイン画面に戻ります。

ATW-DT3101 / ATW-DT3102/Sの場合

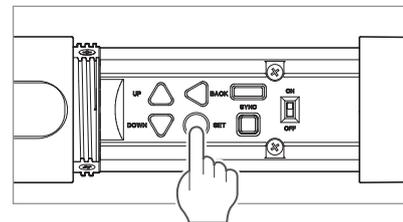
1. SET ボタンを押します。

- ・メニュー画面モードになります。

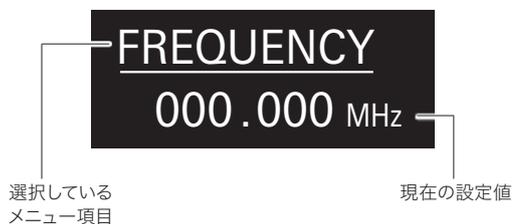
ATW-DT3101



ATW-DT3102/S



2. UP / DOWN ボタンを押して、設定したい項目を選択します。



3. SET ボタンを押すと、選択した項目の設定画面が表示されます。

- ・BACK ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。
- ・途中で設定を中止する場合はBACK ボタンを押します。
- ・設定画面に入った状態でボタン操作を約30秒行わないと、メイン画面に戻ります。

ATW-DR3120 / ATW-DR3120DANの設定

設定項目一覧

FREQUENCY	MANUAL	受信周波数を設定します。
	Gr/Ch	
NAME		チャンネル名を設定します。
AUDIO	LINE/MIC	Line/Micのレベルを設定します。
	LEVEL	オーディオ出力レベルを設定します。
	MIX OUTPUT	受信機のRECEIVER1とRECEIVER2の音声をミックスして出力するかを設定します。
SCAN		空きチャンネルをスキャンします。
TX SYNC		IR SYNCによる送信機の設定をします。
SECURITY	PIN	セキュリティのためのPINコードを設定します。
	AES256	より秘匿性の高いセキュリティの設定をします。
UTILITIES	RF MODE	RFモードを設定します。
	LOCK	受信機の設定を変えることができないように設定します。
	ANT PWR	アンテナ入力端子に電源を供給するかを設定します。
	AF METER	メイン画面のレベルメーターを、受信機か送信機のメーターに切り換えます。
	BRIGHTNESS	ディスプレイ輝度を設定します。
	RESET	受信機を工場出荷時の状態にします。
	VERSION	受信機のバージョンなどの情報を表示します。
NETWORK	DEVICE ID	受信機の識別番号を設定します。
	IP SETTING	IPを設定します。
	REMOTE CTRL	リモートコントロールに関する設定をします。
	SYSLOG	ログメッセージをSyslogサーバーに転送するかを設定します。
	DISCOVERY	アプリケーションからの自動検出の設定をします。
	NTP	NTP(ネットワークタイムプロトコル)の設定をします。
	MAC ADDRESS	MACアドレスを表示します。
DANTE*	INFO	デバイス名称とチャンネルラベルを表示します。
	IP SETTING	DANTEのIPを設定します。
	MAC ADDRESS	MACアドレスを表示します。
	VERSION	DANTEのバージョンなどの情報を表示します。

* ATW-DR3120DANのみ

受信周波数を設定する

手動で設定する

- メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「FREQUENCY」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
- 「MANUAL」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
- コントロールダイヤルを回して、上位3桁を設定します。設定完了後、コントロールダイヤルを押します。
- コントロールダイヤルを回して、下位3桁を設定します。設定完了後、コントロールダイヤルを押します。
 - 設定が完了します。

グループ/チャンネルから設定する

- メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「FREQUENCY」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
- 「Gr/Ch」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
- コントロールダイヤルを回して、グループを設定します。設定完了後、コントロールダイヤルを押します。
- コントロールダイヤルを回して、チャンネルを設定します。設定完了後、コントロールダイヤルを押します。
 - 設定が完了します。

チャンネル名を設定する

設定できる文字は以下のとおりです。

- 入力可能文字数は8文字です。

英字(大文字)	数字
記号(、+、-、#、&、ピリオド)	スペース

- メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「NAME」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
- コントロールダイヤルを回して、設定したい文字を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - 文字が入力され、カーソルが移動します。
- 手順2と同じ操作を行い、すべての文字を入力します。
- コントロールダイヤルを回して、「End」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - 設定が完了します。

ATW-DR3120 / ATW-DR3120DANの設定

オーディオ出力の設定

Line/Micのレベルを設定する

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「AUDIO」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「LINE/MIC」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して、「Line」 / 「Mic」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

オーディオ出力レベルを設定する

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「AUDIO」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「LEVEL」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回してオーディオ出力レベルを設定します。
 - ・ コントロールダイヤルを回すたびに1dBずつ調整します。
 - ・ -12~20dBまで設定できます。
4. コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

オーディオ出力のミックス設定をする

受信機のRECEIVER1とRECEIVER2の音声をミックスして出力するかを設定します。

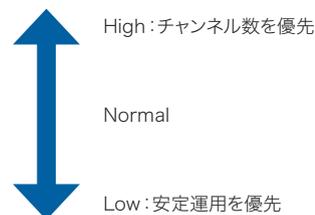
1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「AUDIO」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「MIX OUTPUT」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して、「On」 / 「Off」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

空きチャンネルをスキャンする

現在使用している環境で、未使用のチャンネルをスキャンします。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「SCAN」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して、スキャンしたいグループを選択します。グループ選択後、コントロールダイヤルを押します。

3. コントロールダイヤルを回してスレッシュホールドを選択します。スレッシュホールド選択後、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 「Normal」 / 「High」 / 「Low」から選択できます。



- ・ スキャンが開始されます。

4. スキャン結果を確認し、コントロールダイヤルを回して「OK」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ もう1度スキャンをし直す場合は、「Retry」を選択します。
5. 使用可能なチャンネルと周波数が一覧で表示されます。コントロールダイヤルを回して、使用可能なチャンネルを選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

IR SYNCによる送信機の設定

本項目で設定した内容をIR SYNCで、送信機に設定できます。設定項目と設定値は以下のとおりです。

設定名	設定値
Freq	現在の設定値、NoChange
Name	現在の設定値、NoChange
Input	Mic、Inst、NoChange
Gain	-10~+20dB、NoChange
Sens.*	0、+10dB、NoChange
RF Pwr	Low:2mW、High:10mW、NoChange
HPF	OFF、80Hz、120Hz、160Hz、NoChange
Lock	Lock、Unlock、NoChange
Batt	Alkaline、Ni-MH、NoChange

* ATW-DT3101のみ

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「TX SYNC」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して、項目を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して設定値を選択し、コントロールダイヤルを押します。
4. 手順2、3と同じ操作で、各設定を行います。
5. コントロールダイヤルを回して「SYNC START」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 通信待機中になります。以降は「IR SYNCを使用する」(p.15)を参照してください。

ATW-DR3120 / ATW-DR3120DANの設定

セキュリティに関する機能を設定する

PINコードを設定する

送信機との通信時に使用する4桁のコードを設定します。同じPINコードを設定した受信機と送信機のみが通信できます。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「SECURITY」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「PIN」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して1番目の数字を選択し、コントロールダイヤルを押します。
4. 手順3と同じ操作を行い、すべての数字を入力します。
5. 4番目の数字を入力したあと、コントロールダイヤルを押します。
6. コントロールダイヤルを回して「Sync Now」 / 「Later」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・「Sync Now」を押すと、設定が完了したあと、IR SYNCの待機画面になります。以降は「IR SYNCを使用する」(p.15)を参照してください。
 - ・「Later」を押すと、設定が完了しますが、別途IR SYNCを行う、または手動で送信機のPINコードを設定する必要があります。

AES256による暗号化を設定する

より秘匿性の高いセキュリティの設定をします。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「SECURITY」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「AES256」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して「ON」 / 「OFF」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・「Sync Now」を押すと、設定が完了したあと、IR SYNCの待機画面になります。以降は「IR SYNCを使用する」(p.15)を参照してください。
 - ・「Cancel」を押すと、設定がキャンセルされます。

システムに関する機能を設定する

RFモードを設定する

- ・ 初期状態は「Normal」に設定されています。
1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「UTILITIES」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 2. コントロールダイヤルを回して「RF MODE」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 3. コントロールダイヤルを回して「Normal」 / 「HD Mode」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 「HD Mode」では、音声の伝送レートを下げて電波の占有帯域幅を狭くすることで「Normal」選択時よりも多チャンネルでの同時運用が可能です。
 - ・ 「Sync Now」を押すと、設定が完了したあと、IR SYNCの待機画面になります。以降は「IR SYNCを使用する」(p.15)を参照してください。
 - ・ 「Later」を押すと、設定が完了しますが、別途IR SYNCを行う、または手動で送信機のPINコードの設定を行う必要があります。

ロックの設定

受信機の設定を変えられないように設定します。

- ・ 初期状態は「Unlock」に設定されています。
1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「UTILITIES」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 2. コントロールダイヤルを回して「LOCK」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 3. コントロールダイヤルを回して「Lock」 / 「Unlock」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

アンテナ電源の設定

アンテナ入力端子に電源を供給するかを設定します。

- ・ 初期状態は「OFF」に設定されています。
 - ・ 設定を「ON」にすると、アンテナA、Bの両方に電源を供給します。
1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「UTILITIES」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 2. コントロールダイヤルを回して「ANT PWR」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 3. コントロールダイヤルを回して「ON」 / 「OFF」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

ATW-DR3120 / ATW-DR3120DANの設定

メイン画面レベルメーター表示の設定

メイン画面のレベルメーターを「受信機(RX)」か「送信機(TX)」のメーターに切り換えます。

・ 初期状態は「RX」に設定されています。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「UTILITIES」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「AF METER」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して「RX」 / 「TX」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

ディスプレイ輝度の設定

・ 初期状態は「High」に設定されています。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「UTILITIES」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「BRIGHTNESS」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して「High」 / 「Low」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

初期化

受信機を工場出荷時の状態にします。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「UTILITIES」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「RESET」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して「Yes」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
4. 確認画面が表示されたあと、もう一度コントロールダイヤルを回して「Yes」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 初期化が開始されます。

受信機のバージョン確認

受信機のバージョンなどの情報を表示します。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「UTILITIES」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「VERSION」を選択します。

ATW-DR3120 / ATW-DR3120DANの設定

ネットワークを設定する

受信機とPCを接続することにより、専用アプリを使用してPCでのモニターや制御が可能になります。

受信機の識別番号を設定する

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「NETWORK」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「DEVICE ID」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して識別番号を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

IPを設定する

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「NETWORK」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「IP SETTING」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. 設定したい項目を選択し、コントロールダイヤルを押します。

IP Mode	IPアドレスの取得方法について設定します。 「Auto」: IPアドレスを自動で割り当てるように設定します。 「Static」: 固定IPアドレスを使用するように設定します。
IP Address*	固定IPアドレスを指定します。
Subnet Mask*	サブネットマスクを設定します。
Gateway*	ゲートウェイを設定します。

*「IP Mode」を「Static」に設定しているときのみ、設定できます。

4. 各項目を設定します。

リモートコントロールに関する設定をする

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「NETWORK」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「REMOTE CTRL」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. 設定したい項目を選択し、コントロールダイヤルを押します。

Port	IPポートの番号を設定します。
Notification	リモートコントロール時に受信機からの通知を受け取る設定をします。
LVL Notify*	リモートコントロール時に、受信機からの通知にAF・RFレベルを含めるかどうかを設定します。
Multicast IP*	マルチキャストのアドレスを設定します。
Multicast Port*	マルチキャストのポート番号を設定します。

*「Notification」を「ON」に設定しているときのみ、設定できます。

4. 各項目を設定します。

ログメッセージについて設定する

ログメッセージをSyslogサーバーに転送するかを設定します。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「NETWORK」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「SYSLOG」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して「ON」 / 「OFF」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

・ Syslogとは、IPネットワーク上でログメッセージを転送するための標準規格です。コンピュータシステムの管理やセキュリティ監視を目的として使用されています。

アプリケーションからの自動検出の設定をする

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「NETWORK」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「DISCOVERY」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを回して「ON」 / 「OFF」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
 - ・ 設定が完了します。

NTPの設定をする

NTP(ネットワークタイムプロトコル)の設定をします。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「NETWORK」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「NTP」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. 設定したい項目を選択し、コントロールダイヤルを押します。

NTP	NTP(ネットワークタイムプロトコル)の設定を有効にするかを設定します。
Server adrs*	NTPのサーバーアドレスを設定します。
Port*	NTPのポート番号を設定します。
Time Zone*	UTC(協定世界時)との時差を設定します。
DST*	サマータイムの入/切を設定します。
DST Start Date*	サマータイム開始の月日を設定します。
DST Start Time*	サマータイム開始の時刻を設定します。
DST End Date*	サマータイム終了の月日を設定します。
DST End Time*	サマータイム終了の時刻を設定します。

*「NTP」を「ON」に設定しているときのみ、設定できます。

4. 各項目を設定します。

ATW-DR3120 / ATW-DR3120DANの設定

MACアドレスを表示する

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「NETWORK」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「MAC ADDRESS」を選択します。

DANTEについて設定する

本設定はATW-DR3120DANのみです。

デバイス名称とチャンネルラベルを表示する

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「DANTE」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「INFO」を選択します。

DANTEのIPを設定する

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「DANTE」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「IP SETTING」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
3. 設定したい項目を選択し、コントロールダイヤルを押します。

IP Mode	IPアドレスの取得方法について設定します。 「Auto」: IP アドレスを自動で割り当てるように設定します。 「Static」: 固定IP アドレスを使用するように設定します。
IP Address*	固定IPアドレスを指定します。
Subnet Mask*	サブネットマスクを設定します。
Gateway*	ゲートウェイを設定します。

*「IP Mode」を「Static」に設定しているときのみ、設定できます。

4. 各項目を設定します。

MACアドレスを表示する

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「DANTE」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「MAC ADDRESS」を選択します。

DANTEのバージョン確認

DANTEのバージョンなどの情報を表示します。

1. メニュー画面からコントロールダイヤルを回して「DANTE」を選択し、コントロールダイヤルを押します。
2. コントロールダイヤルを回して「VERSION」を選択します。

ATW-DT3101 / ATW-DT3102 / S の設定

設定項目一覧

FREQUENCY	MANUAL	送信周波数を設定します。
	Gr/Ch	
NAME		チャンネル名を設定します。
GAIN		マイク入力ゲインを調整します。
INPUT*		送信機の入力コネクタの接続先を「MIC」(マイクロホン)か「INST」(ギターケーブルなど)に設定します。
SENSITIVITY*		マイク入力ゲインを0dB / +10dBから設定します。
RF POWER		送信出力を設定します。
HPF		HPF (High-Pass Filter) を設定します。
LOCK		ロックを設定します。
FN BUTTON		ファンクションボタンの機能割り当てを設定します。
MUTE MODE		ミュートモードを設定します。
SECURITY	PIN	セキュリティのためのPINコードを設定します。
	AES256	AES256による暗号化を設定している場合、解除します。
UTILITIES	RF MODE	RFモードを設定します。
	TEST TONE	送信機からテスト信号を出します。
	BATTERY	使用する電池の種類を設定します。
	LED	インジケータを常時点灯するかを設定します。
	RESET	送信機を工場出荷時の状態にします。
	VERSION	送信機のバージョンを表示します。

* ATW-DT3101のみ

送信周波数を設定する

手動で設定する

1. メニュー画面からUP / DOWN ボタンを押して、「FREQUENCY」を選択し、SET ボタンを押します。

FREQUENCY
000.000 MHz

2. 「MANUAL」を選択し、SET ボタンを押します。

FREQUENCY
MANUAL

3. UP / DOWN ボタンを押して、上位3桁を設定します。設定完了後、SET ボタンを押します。

4. UP / DOWN ボタンを押して、下位3桁を設定します。設定完了後、SET ボタンを押します。
 - ・ 設定が完了します。

グループ / チャンネルから設定する

1. メニュー画面からUP / DOWN ボタンを押して、「FREQUENCY」を選択し、SET ボタンを押します。

FREQUENCY
000.000 MHz

2. 「Gr / Ch」を選択し、SET ボタンを押します。

FREQUENCY
Gr/Ch

3. UP / DOWN ボタンを押して、グループを設定します。設定完了後、SET ボタンを押します。

4. UP / DOWN ボタンを押して、チャンネルを設定します。設定完了後、SET ボタンを押します。
 - ・ 設定が完了します。

チャンネル名を設定する

設定できる文字は以下のとおりです。

- ・ 入力可能文字数は8文字です。

英字 (大文字)	数字
記号 (_ , + , - , # , & , ピリオド)	スペース

1. メニュー画面からUP / DOWN ボタンを押して、「NAME」を選択し、SET ボタンを押します。

NAME

2. UP / DOWN ボタンを押して、設定したい文字を選択し、SET ボタンを押します。
 - ・ 文字が入力され、カーソルが移動します。

3. 手順2と同じ操作を行い、すべての文字を入力します。
 - ・ 8文字入力しない場合は、UP / DOWN ボタンを押して、「End」を選択し、SET ボタンを押してください。

4. 8文字目でSET ボタンを押します。
 - ・ 「End」が表示されます。

5. SET ボタンを押します。
 - ・ 設定が完了します。

ATW-DT3101 / ATW-DT3102/Sの設定

マイク入力ゲインを調整する

1. メニュー画面からUP / DOWN ボタンを押して、「GAIN」を選択し、SET ボタンを押します。



2. UP / DOWN ボタンを押して、ゲインを選択します。
 - ・ UP / DOWN ボタンを押すたびに、2dB ずつ大きく / 小さくなります。
 - ・ -10 ~ +20dB まで設定できます。
3. SET ボタンを押します。
 - ・ 設定が完了します。

送信出力を設定する

1. メニュー画面からUP / DOWN ボタンを押して、「RF POWER」を選択し、SET ボタンを押します。



2. UP / DOWN ボタンを押して、送信出力を「High: 10mW」 / 「Low: 2mW」から選択します。
3. SET ボタンを押します。
 - ・ 設定が完了します。

入力コネクタの接続を設定する (ATW-DT3101のみ)

送信機の入力コネクタの接続先を「MIC」(マイクロホン)か「INST」(ギターケーブルなど)に設定します。

1. メニュー画面からUP / DOWN ボタンを押して、「INPUT」を選択し、SET ボタンを押します。
2. UP / DOWN ボタンを押して、「MIC」 / 「INST」を選択します。
3. SET ボタンを押します。
 - ・ 設定が完了します。

HPF (High-Pass Filter) を設定する

1. メニュー画面からUP / DOWN ボタンを押して、「HPF」を選択し、SET ボタンを押します。



2. UP / DOWN ボタンを押して、「Off」 / 「80Hz」 / 「120Hz」 / 「160Hz」を選択します。
3. SET ボタンを押します。
 - ・ 設定が完了します。

マイク入力ゲインを選択する (ATW-DT3101のみ)

1. メニュー画面からUP / DOWN ボタンを押して、「SENSITIVITY」を選択し、SET ボタンを押します。



2. UP / DOWN ボタンを押して、「0dB」 / 「+10dB」から選択します。
3. SET ボタンを押します。
 - ・ 設定が完了します。

ロックを設定する

1. メニュー画面からUP / DOWN ボタンを押して、「LOCK」を選択し、SET ボタンを押します。



2. UP / DOWN ボタンを押して、「Lock」 / 「Unlock」を選択します。

Lock	ロック状態
Unlock	ロック解除状態

3. SET ボタンを押します。
 - ・ 設定が完了します。

ATW-DT3101 / ATW-DT3102/Sの設定

ファンクションボタンの機能割り当てを設定する

ファンクションボタンを長押ししたときの、機能を割り当てます。

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「Fn BUTTON」を選択し、SETボタンを押します。

Fn BUTTON
Disable

2. UP / DOWNボタンを押して、設定したい機能を選択します。

Disable	機能なし
RF Off*	送信出力OFF

* 「MUTE MODE」で「RF Off」に設定していると選択できません。

3. SETボタンを押します。
・ 設定が完了します。

ミュートモードを設定する

MUTEスイッチの機能を割り当てます。

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「MUTE MODE」を選択し、SETボタンを押します。

2. UP / DOWNボタンを押して、設定したい機能を選択します。

Disable	機能なし
Mute	ミュート
MuteOnLock	ミュート(ロック状態でもミュート可能)
RF Off*	送信出力OFF

* 「Fn BUTTON」で「RF Off」に設定していると選択できません。

3. SETボタンを押します。
・ 設定が完了します。

セキュリティに関する機能を設定する

PINコードを設定する

受信機との通信時に使用する4桁のコードを設定します。同じPINコードを設定した送信機と受信機のみが通信できます。

・ 初期状態は「0000」に設定されています。

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「SECURITY」を選択し、SETボタンを押します。
2. UP / DOWNボタンを押して、「PIN」を選択し、SETボタンを押します。
3. UP / DOWNボタンを押して、設定したい数字を選択し、SETボタンを押します。
・ 数字が入力され、カーソルが移動します。
4. 手順3と同じ操作を行い、4桁の数字を入力します。
5. 4桁目でSETボタンを押します。
・ 設定が完了します。

AES256による暗号化を解除する

AES256による暗号化を設定している場合、解除します。

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「SECURITY」を選択し、SETボタンを押します。
2. UP / DOWNボタンを押して、「AES256」を選択し、SETボタンを押します。
3. UP / DOWNボタンを押して、「Off」を選択します。
4. SETボタンを押します。
・ 設定が完了します。

システムに関する機能を設定する

RFモードを設定する

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「UTILITIES」を選択し、SETボタンを押します。
2. UP / DOWNボタンを押して、「RF MODE」を選択し、SETボタンを押します。
3. UP / DOWNボタンを押して、「Normal」 / 「HD Mode」を選択します。
・ 「HD Mode」では、音声の伝送レートを下げて電波の占有帯域幅を狭くすることで「Normal」選択時よりも多チャンネルでの同時運用が可能です。
4. SETボタンを押します。
・ 設定が完了します。

送信機からテスト信号を出力する

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「UTILITIES」を選択し、SETボタンを押します。
2. UP / DOWNボタンを押して、「TEST TONE」を選択し、SETボタンを押します。
3. UP / DOWNボタンを押して、「On」を選択し、SETボタンを押します。
・ マイク入力の代わりに1kHzのテスト信号が音声信号として出力されます。
・ テスト信号が出ている間は、マイク入力がミュートになります。

ATW-DT3101 / ATW-DT3102/Sの設定

電池の設定

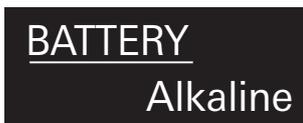
使用する電池の種類を設定します。

・ 初期状態は「Alkaline」に設定されています。

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「UTILITIES」を選択し、SETボタンを押します。



2. UP / DOWNボタンを押して、「BATTERY」を選択し、SETボタンを押します。



3. UP / DOWNボタンを押して、電池の種類を選択します。

Alkaline	アルカリ乾電池を使用する場合に選択します。
NiMH	ニッケル水素電池を使用する場合に選択します。

4. SETボタンを押します。

・ 設定が完了します。

・ 使用する電池と同じ設定を行わないと、電池残量表示が正しく表示されません。必ず使用する電池に合わせた設定を行ってください。

インジケータの設定

インジケータのOn / Offを設定します。

・ 初期状態は「On」に設定されています。

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「UTILITIES」を選択し、SETボタンを押します。



2. UP / DOWNボタンを押して、「LED」を選択し、SETボタンを押します。



3. UP / DOWNボタンを押して、「On」 / 「Off」を選択します。

4. SETボタンを押します。

・ 設定が完了します。

初期化

送信機を工場出荷時の状態にします。

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「UTILITIES」を選択し、SETボタンを押します。



2. UP / DOWNボタンを押して、「RESET」を選択し、SETボタンを押します。



3. UP / DOWNボタンを押して、「Yes」を選択します。

4. 確認画面が表示されたあと、もう一度UP / DOWNボタンを押して、「Yes」を選択します。

5. SETボタンを押します。

・ 初期化が開始されます。

送信機のバージョン確認

送信機のバージョンを表示します。

1. メニュー画面からUP / DOWNボタンを押して、「UTILITIES」を選択し、SETボタンを押します。

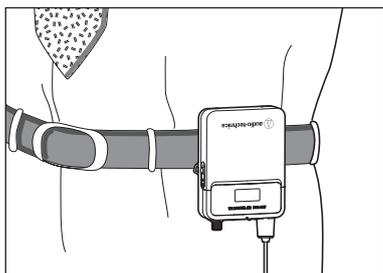


2. UP / DOWNボタンを押して、「VERSION」を選択し、SETボタンを押します。

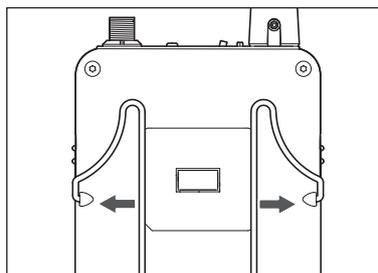
・ MPU、FPGAのバージョンが表示されます。

取り付けかた(ATW-DT3101)

ATW-DT3101にはクリップが付いているため、ベルトなどに取り付けて使用してください。



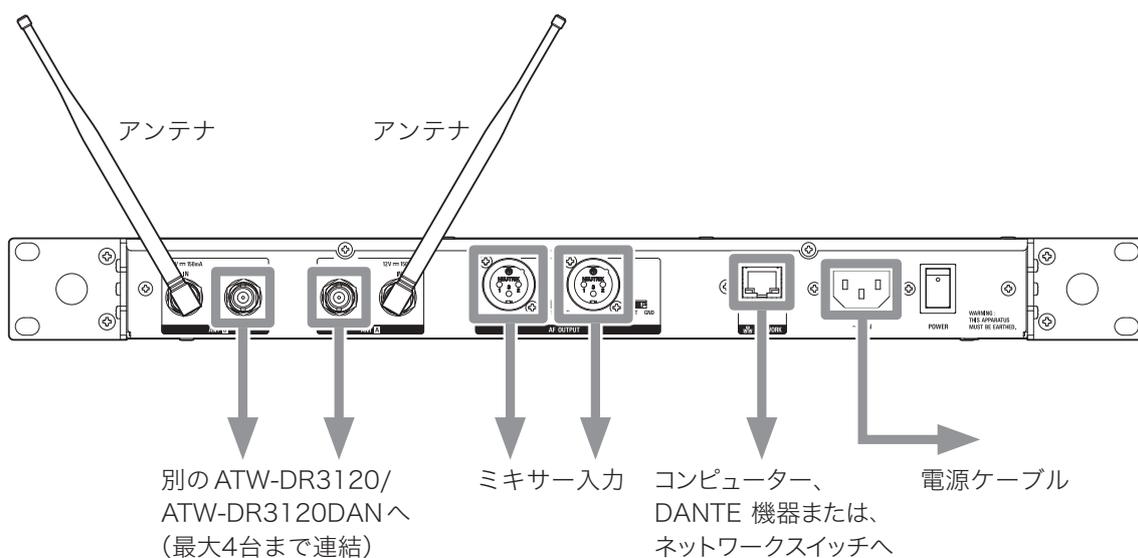
クリップを逆方向に取り付けると、入力コネクターの向きを逆にすることができます。



クリップを送信機から外す際は、クリップの両側を強く外側へ引いてください。

接続方法(基本接続)

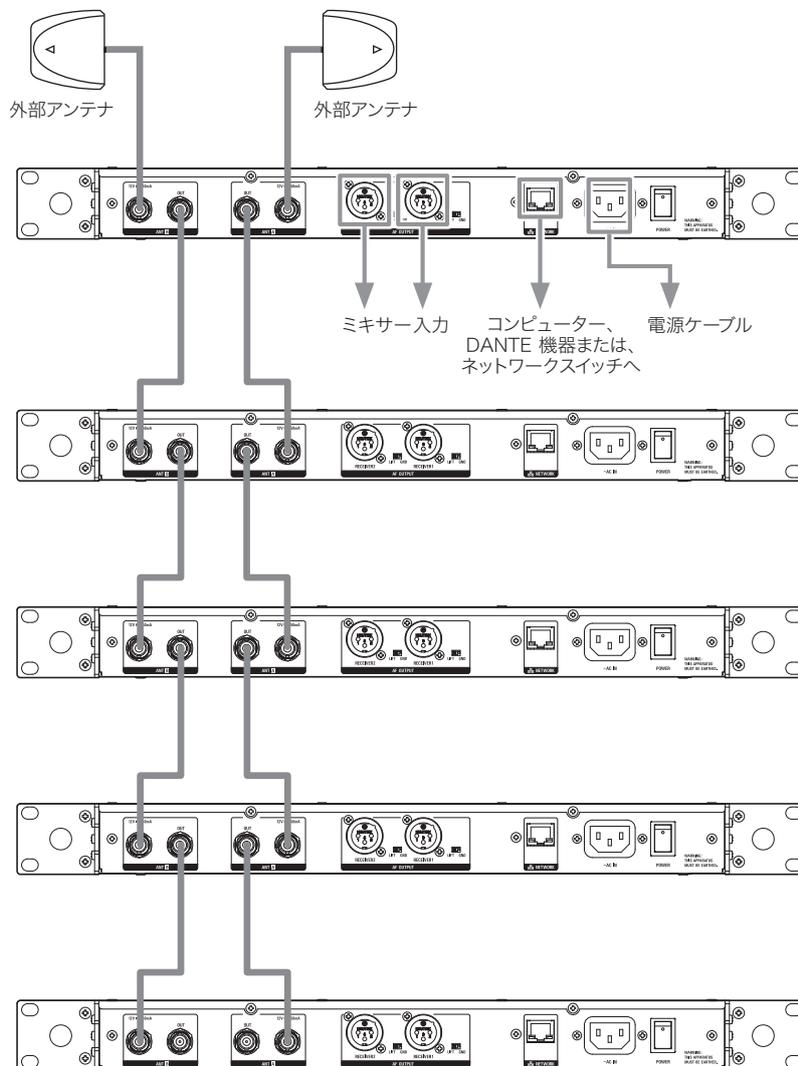
受信機を1台で使用する場合の接続例です。



接続方法 (カスケード接続)

アンテナ出力端子を使用することにより、アンテナディバイダーを使用せず、さらに4台(合計5台)の受信機をカスケード接続することができます。

- ・カスケード接続の場合、付属のホイップ・アンテナまたは外部アンテナをメインの受信機のアンテナ入力端子に接続し、BNC 同軸ケーブルを介して各受信機を接続します。

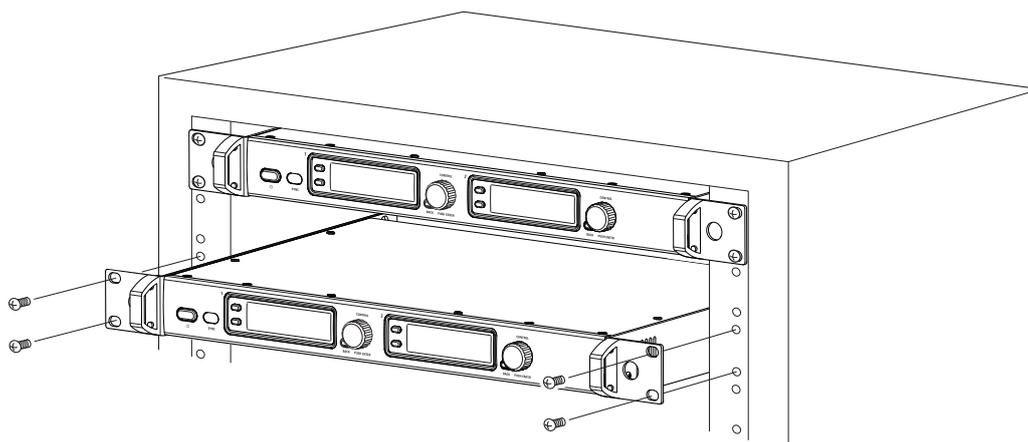


安定した受信のために

受信機のアンテナと送信機の間には障害物があると、電波が充分届かない場合があります。見通しの良い場所に設置してください。設置場所が限定される場合は外部アンテナ(別売)をご使用ください。

ラックマウントの方法

- ・ラックへの取り付けねじは付属していません。
- ・ラックマウントの際はラックの内部に熱がこもらないように、換気に配慮してください。
- ・本製品をラックに設置するときは、ラック内の温度が45°C以上にならないようにしてください。高温状態は本製品の内部部品に悪影響を及ぼし、本製品が誤動作する原因となります。
- ・本製品と他の機器、またはラックの上面、底面、側面の隙間は、最低10mm開けてください。
- ・換気のため、本製品の背面には物を置かないでください。
- ・必要なラックの仕様は次のとおりです。
 - EIA規格の19インチラック
 - 1Uサイズの取り付け可能なラック
 - 本製品を置く棚のあるラックまたは本製品を支えるガイドレール付きのラック
- ・市販のジョイントパーツを使用して背面のガイドレールにねじで取り付けることで、ラックへの固定をより安定させることができます。



故障かな?と思ったら

ATW-DR3120/ATW-DR3120DAN

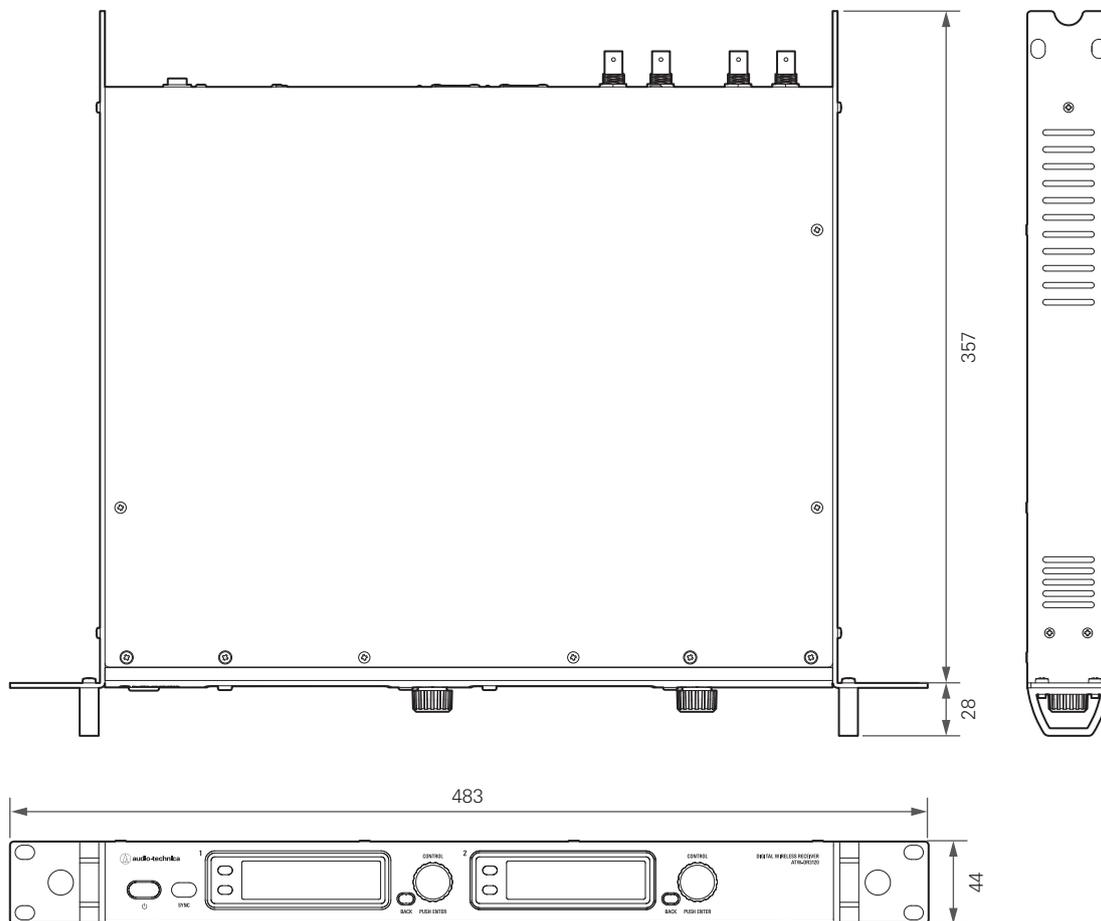
症状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない。	電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	-
音が出ない。音声が小さい。	受信機、送信機のチャンネルが違ってないか確認してください。	p.17, p.23
	受信機の電源ボタンがOFFになっていないか確認してください。	p.15
	アンテナが外れていないか確認してください。	-
	ミキサーなどの外部接続機器と受信機との接続が外れていないか確認してください。	-
	オーディオ出力レベルが最小になっていないか確認してください。	p.18
	受信機に接続しているミキサーなどの外部接続機器の音声出力ボリュームが小さくなっていないか確認してください。	-
	PINコード、AES256やHDモードの設定を確認してください。	p.19
音が歪む。	オーディオ出力レベルが大きすぎているか確認してください。	p.18
	外部接続機器のボリュームが大きすぎているか確認してください。	-
ノイズが出る。音切れする。	受信機の近くに蛍光灯や電気機器などのノイズ発生源がないか確認してください。	-
	異なるグループ間で同時に複数台使用していないか確認してください。	-
	受信機の出力端子からの接続が正しく行われているか確認してください。	p.27
	受信機をノイズの多い機器と同じコンセントから電源を取っていないか確認してください。	-
	近くで同じ周波数帯のワイヤレスシステムを使用していないか確認してください。	-
	PINコード、AES256やHDモードの設定を確認してください。	p.19

ATW-DT3101/ATW-DT3102/S

症状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない。	電池が入っているか確認してください。	-
	電池が消耗していないか確認してください。	-
	電池が正しい向きに入っているか確認してください。	p.10
音が出ない。音声が小さい。	受信機、送信機のチャンネルが違ってないか確認してください。	p.17, p.23
	電源スイッチがOFFになっていないか確認してください。	p.15
	RF PowerがOFFになっていないか確認してください。	p.24
	ミュート状態になっていないか確認してください。	p.25
	送信機の送信出力が小さくなっていないか確認してください。	p.24
	マイクロホンまたはギターケーブルが外れていないか確認してください。(ATW-DT3101のみ)	-
	ギターなどの楽器の出力ボリュームが最小になっていないか確認してください。	-
	送信機の入力コネクターの接続先を正しく設定しているか確認してください。(ATW-DT3101のみ)	p.24
	マイクロホンケーブルが正しく接続されているか確認してください。(ATW-DT3102/Sのみ)	p.11
	送信機のゲイン設定が大きすぎているか確認してください。	p.24
ノイズが出る。音切れする。	送信機の近くに蛍光灯、LED照明や電気機器などのノイズ発生源がないか確認してください。	-
	異なるグループ間で同時に複数台使用していないか確認してください。	-
	送信機の送信出力が大きすぎないか確認してください。	p.24
	PINコード、AES256やHDモードの設定を確認してください。	p.25

外形寸法図

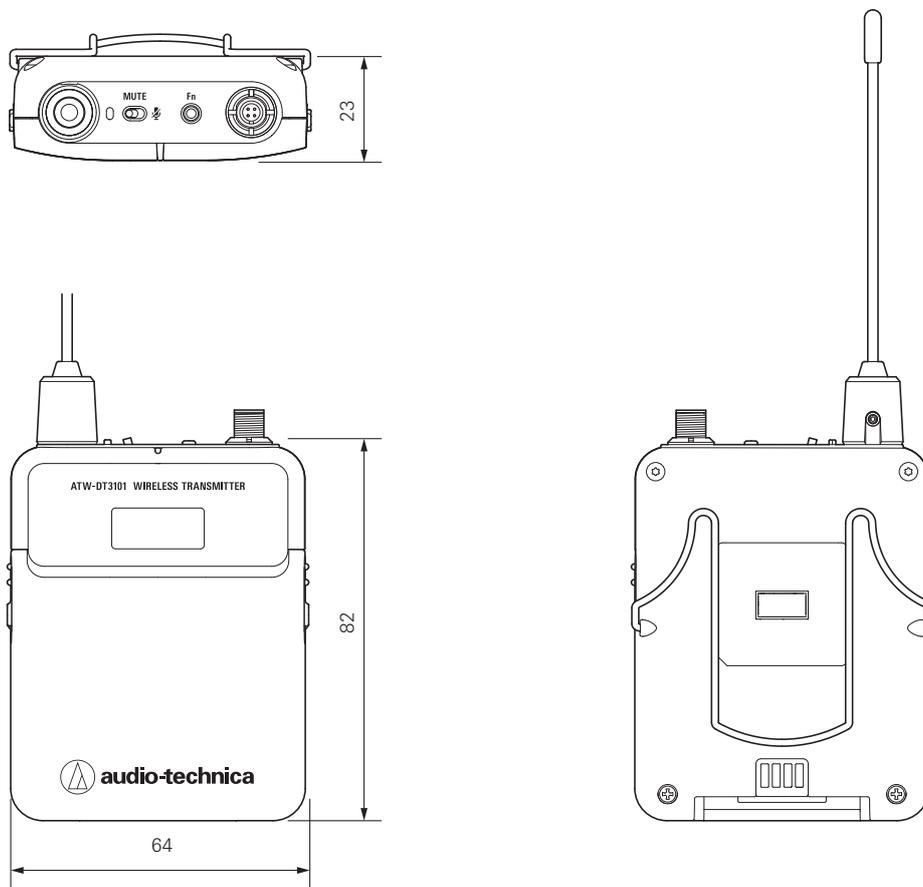
ATW-DR3120 / ATW-DR3120DAN



(单位: mm)

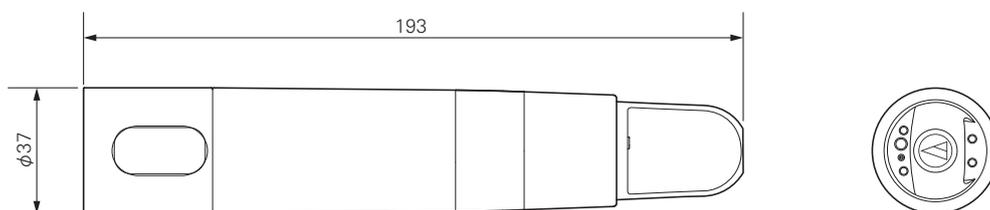
外形寸法図

ATW-DT3101



(単位: mm)

ATW-DT3102/S



(単位: mm)

テクニカルデータ

システム仕様

通信周波数帯	Band HH1 806.125~809.750MHz
最小周波数ステップ	125kHz
変調方式	π /4shift DQPSK
占有帯域幅	192kHz以下
ダイナミックレンジ	ATW-DT3101 (Mic input) : 120dB以上、A-weighted、typical ATW-DT3101 (Inst input) : 108dB以上、A-weighted、typical ATW-DT3102/S : 120dB以上、A-weighted、typical
全高調波歪率	0.1%以下(1kHz、-20dBFS時)
遅延 ^{*1}	2.5ms以下
動作範囲 ^{*2}	120m
周波数特性 ^{*3}	20~22,000Hz
同時使用数 ^{*4}	10ch(ノーマルモード)、15ch(HDモード)

*1 XLR出力時。

*2 干渉信号のない開けた環境。

*3 取り付けられたマイクロホンによって異なります。

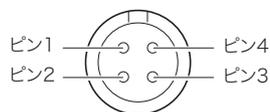
*4 電波環境、使用状況によって異なります。

ATW-DR3120/ATW-DR3120DAN

受信方式	トゥルーダイバーシティ
イメージ妨害比	70dB
受信感度	-98dBm(10 ⁻⁵ BER)
最大出力レベル	18dBV (Line)、-12dBV (Mic)
アンテナ入力	BNC型、50 Ω
アンテナ供給電源	DC12V、150mA \times 2
電源	AC100~240V 50/60Hz
動作温度範囲	-5 $^{\circ}$ C~40 $^{\circ}$ C
外形寸法	483 \times 385 \times 44mm(W \times D \times H)
質量	約4.1kg
付属品	1/2 λ ホイップアンテナ \times 2、電源ケーブル、ゴム脚 \times 4

ATW-DT3101

RF出力	High : 10mW、Low : 2mW
入力端子	



4ピンロッキングコネクタ
(ピン1: GND、ピン2: INST INPUT、ピン3: MIC INPUT、ピン4: DC BIAS +5V)

ハイパスフィルター (low-freq. roll-off)	80Hz、120Hz、160Hz 12dB/Octave
電源	単3形アルカリ乾電池 \times 2または単3形ニッケル水素電池 \times 2
動作温度範囲	-5 $^{\circ}$ C~40 $^{\circ}$ C
電池寿命	単3形ニッケル水素電池使用時: 約7時間(1900mAh) (High)、約9時間(2500mAh) (High) 単3形アルカリ乾電池使用時: 約6時間 (High)
外形寸法	64 \times 23 \times 82mm(W \times D \times H)
質量(電池除く)	約105g
付属品	ポーチ、ラベリアマイクロホン(AT829cH)

テクニカルデータ

ATW-DT3102/S

RF出力	High : 10mW、Low : 2mW
ハイパス (low-freq. roll-off)	80Hz、120Hz、160Hz 12dB/Octave
電源	単3形アルカリ乾電池×2または単3形ニッケル水素電池×2
動作温度範囲	-5 °C～40 °C
電池寿命	単3形ニッケル水素電池使用時: 約7時間 (1900mAh) (High)、約9時間 (2500mAh) (High) 単3形アルカリ乾電池使用時: 約6時間 (High)
外形寸法	193mm×φ37mm(マイクロホンカプセル除く)
質量(電池除く)	約205g
付属品	ポーチ、マイクホルダー(AT8456a)

改良などのため予告なく変更することがあります。

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

©2018 Audio-Technica Corporation

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、または当社プロフェッショナルSS課までお問い合わせください。

232417010-01-01 ver.1 2018.09.15